

蒜山高校タイムズ

学校見学（六月二十五日）

総合的な学習の時間を利用して、二年生は岡山市にある大学や専門学校へ学校見学に行きました。就実大学、岡山商科大学、順正短期大学、ビーマックス、岡山科学技術専門学校、西日本調理製菓専門学校、岡山理科大学専門学校の中から、午前と午後で一校ずつ見学をしました。生徒にとっては自分の進路を考える上で参考になったと思います。生徒の感想を少し紹介します。

（就実） 幼児教育学科では児童用のイスや机で学生たちが授業を受けていることにも驚きました。一つ一つの遊びの注意点や、動きかた、ルールの説明の仕方なども、細かくわかりていました。私たちが小さい頃に遊んでいた時、保育士さんはあんなにたくさんのことを見えて、一緒に遊びをしていたんだなあ、と初めて知りました。
（順正） 美容という今まで考えなかつた職種の見学でしたが、こういう仕事もいいなあと思いました。フェイシャルマッサージが体験できたことは、本当に貴重な体験でした。
（理大専） アクアリウム科の水槽を見たり、ちがう種の魚を造つてみたりしていることに驚き、興味を持ちました。作るだけではなくて、それを海に返したり、乱獲を防ぐなどの目的もあったことにさらに関心を持ちました。

（西日本調理専） 調理の専門学校に本当にいくかどうか迷っていたのがはつきりして、行きたいという気持ちが強くなつた。そして専門学校に合格するためにも期末テストを少しほがんばろうと思った。

お菓子作り講習会（七月四日）

蒜山高校では毎年行っている活動で、中学生と一緒にお菓子を作り、特別養護老人ホーム千寿荘の方に食べていただき、「う」というものです。千寿荘には蒜山高校の三年生が「家庭看護・福祉」の授業で実習に行かせていただいているなどお世話になる機会が多いので何か恩返しがしたいという思いもありました。また、蒜山高校と蒜山中学校は平成十三年度より中高一貫教育を実施しており、高校生と中学生の交流の場にもなっています。参加者は蒜山高校生が二十人（生活科学コースの生徒、家庭クラブ委員など）、蒜山中学校の生徒会役員の生徒が七人と両校教職員でした。

はじめに蒜山高校の食物教室に集合し、「あん玉の葛かけ」というお菓子を作りました。あんこを丸め、その上に葛をかけるというもので、どんなお菓子が千寿荘の方に喜んでいただけるか、三年生を中心に考えました。そして三年生が指導者となり、下級生に作り方を教えながらお菓子を作りました。できあがつたお菓子の試食をしてみると、それが好評を耳にするときには、心からの喜びにほのぼのとした安らぎを憶えるのは私一人ではないと思います。蒜高の皆さん、創立の頃から現在に至るまで、いろいろな形で蒜高にかかりを持つ多くの人々が蒜高に寄せる期待の極めて大きいことを忘れないでください。

これは昭和五十五年に発行された「教育ひるぜん」に故岡田敏美氏が書かれた言葉です。式辞の最後をこう締めくくった校長はいつの時代も、蒜高に対する思いは変わらないなを感じていました。

第52号
毎月25日発行
H20. 7. 22
蒜山高校
教務課



一学期期末考査（六月三十日～七月四日）

一学期の総まとめである期末考査が行われました。家庭訪問の時に担任から受けたアドバイスをもとに受けた、今回の試験の結果はどうだったでしょうか。一、二年生は終業式後に発送の予定です。三年生は三者面談が行われますので、そのときに渡される予定です。

AED講習会（七月十一日）

真庭消防署蒜山分署の方にお願いし、一年生を対象とした「心肺蘇生法とAEDの講習会」を実施しました。蒜山高校に設置されているAEDを緊急時に活用できるように毎年一年生が受講しています。生徒達は熱心に講習を受け、二時間があつたという間に過ぎました。



漢字検定（七月十一日）

今年度のメインテーマ「基礎学力の充実と進路保障（検定・書く力・話す力などの充実）」をもとに、全校一齊に漢字検定を実施しました。受検した級はそれぞれですが、四月から取り組んできた成果がでればいいと思います。



模試（七月十五日・十六日・十七日）

期末考査を終えたばかりの五日、二・三年生の公務員希望者を対象とした模試が行われました。十二日には一年生、十三日には三年生の進学希望者を対象とした模試が行われました。休みの日の時間を有効に活用し、真剣に問題に取り組んでいます。自分の希望進路に向けて少しずつ進んでいます。

終業式（七月十八日）



8・9月の予定	
5日(火)	人権教育講演会
7日(木)	登校日
18日(月)	補習
~25日(月)	
23日(土)	登校日（草刈り）
27日(水)	始業式
5日(金)	三座祭
~7日(日)	



新聞をご覧になられた感想、ご意見などありましたら下記までお願ひいたします。

蒜山高校 Tel:66-2016 (担当 土居)
e-mail: hiruzen07@pref.okayama.jp

